

今月の新着本

| | | | |
|----------------------------|-----------|-----------------|-----------------------------------|
| これは経費で落ちません！ ～経理部の森若さん～ | 青木 祐子 | 独裁者たちの最期の日々 下 | ディアンヌ・ デュクレ エマニュエ ル・エシュト |
| 影裏 芥川賞受賞 | 沼田 真佑 | 月の満ち欠け 直木賞受賞 | 佐藤 正午 |
| せつない動物図鑑 | ブルック・パーカー | SRO VII ブラックナイト | 富樫倫太郎 |

児童書・絵本

| | | | |
|--------------|-------|----------|-------|
| もいもい | 市原 淳 | つみきでとんとん | 竹下 文子 |
| だめだめママだめ！ | 天野 慶 | へたなんよ | ひこ・田中 |
| 雨降る本屋とうすまき天気 | 日向理恵子 | | |

お勧めの本

| | |
|-------------------|---|
| 日本会議の研究 菅野 完 | 保守で右翼を自認する著者が語る…市民運動が嘲笑の対象にさえなった80年代以降の日本で、めげずに、愚直に、地道に、そしてきわめて民主的な、市民運動の王道を歩んできた「一群の人々」によって日本の民主主義は殺されるだろう…。 「森本学園問題」、稲田元防衛相問題等の根源もこれを読めば納得…。興味深く読みやすい本です。 |
| サイレント・ブレス 南 杏子 | 「死んでいく患者も、愛してあげてよ」命の終りを真摯に見つめる現役医師による、感涙のデビューミステリ。大学病院の総合診療科から、「むさし訪問クリニック」への“左遷”を命じられた37歳の水戸倫子。そこは、在宅で「最期」を迎える患者専門の訪問診療クリニックだった。命を助けるために医師になった倫子は、そこで様々な患者と出会い、治らない、死を待つだけの患者と向き合うことの無力感に苛まれる。けれども、いくつもの死と、その死に秘められた切なすぎる“謎”を通して、人生の最期の日々を穏やかに送れるよう手助けすることも、大切な医療ではないかと気づいていく。 |

〈利用できる日時〉 月・水・木・土・日曜日 午前9時～午後9時

〈利用できない日時〉 火・金曜日の休館日 年末年始（12月29日～1月3日）

〈交通〉 相模鉄道 三ツ境駅より徒歩20分

* 駐車場がありませんので、徒歩か自転車でお越しください。

* 東野中学校東門（老人ホーム東野園側）よりお入りください。